

液化石油ガス容器バルブ設計・製造基準 KHKS 0126 (2014)の見直しについて

1. 基準の趣旨

KHKS 0126は、液化石油ガス用容器バルブの国際規格ISO 15995を基本として、バルブ製造者に求められる品質管理体制並びにバルブの設計、製造及び試験を示した「液化石油ガス容器用弁品質管理指針」(KHK E 010(1979制定-1984改正))の一部を取り込み、平成16年に制定された基準である。その後、平成21年及び平成26年に改正され、最終改正から4年が経過したため、定期的な見直しを行うものである。

2. 前回改正の主な内容

- (1) 改正要望への対応
- (2) 本基準で引用する規格の最新版の適用
- (3) 基準の編集方法について日本工業規格(JIS Z 8301)に準拠
- (4) 表現の見直し、誤字・脱字の訂正

3. 改正要望

本基準の見直しにあたって、関係団体に改正要望の調査を行ったところ、資料21-8-2のとおり日本高圧ガス容器バルブ工業会より改正要望があった。

4. 見直しの方針(案)

今回の見直しについては、以下の改正を「軽微な変更に伴う改正(書面投票及びパブコメ等は不要。)」として行うこととしたい。

- (1) 改正要望への対応
- (2) 本基準で引用する規格の最新版の適用
- (3) 表記等の修正